

精神看護学実習

【実習目的】

精神に障害をもつ人を理解し、障害の段階にあわせた看護ができる基礎的能力を養う。

【実習目標】

- 1 精神に障害をもち、入院している人の治療的環境と看護師の役割を理解できる。
- 2 精神に障害をもち、入院している人を理解し必要な援助を実践できる。
- 3 精神に障害をもち、地域で生活している人に必要な支援、制度を理解できる。
- 4 精神保健医療福祉の現状と課題を理解し、今後の支援の方向性を考えることができる。
- 5 精神に障害をもつ人との関わりを通して、自己の内面の変化に気づき自己洞察ができる。

【構成および計画】

授業科目	実習内容	時間	単位 (合計時間)
精神看護学実習	精神に障害をもち、入院している人の看護	64	2 (90)
	精神に障害をもち、地域で生活している人の看護	16	
	実践活動外学習	10	

<実践活動外学習の内訳>

項目	目的	内容	時間
フロアーオリエンテーション	実習を円滑に行うために、実習施設や患者の情報及び留意点を知る。	実習施設の特徴と病棟の概要、患者の特性及び関わり方、態度、実習の進め方等	2
患者の人権と安全を守るためのカンファレンス	精神科における人権と安全を守る看護のあり方を検討する。	対象の安全を守る行動制限と人権への配慮、怠薬予防を踏まえた看護実践の方法等。	4
精神機能や生活に障害がある人への、自立や地域移行支援の制度と方法の検討	対象の希望を生かした支援方法や制度の現状と、課題を検討する。	対象の使っている資源や制度、サポート体制や方法の検討 事前学習を踏まえ就労支援施設等の内容と法的根拠を学習	4